

参考資料1 医療と介護のありたい姿と評価指標の関係図
(保健福祉部 黒田参事作成資料)

Structure

・人や建物や資源

病院・診療所
介護事業所
専門職数

高齢福祉課(介護施設)
茨城県(医療計画)
国(厚生労働省)

Process

・それらがどう活動するか

ありたい姿

当事者の希望に合わせて最大限に資源を活用する

- ・専門職同士の連携
 - 心理的連携(顔が見える関係・エチケット)
 - システム的連携(制度や仕組みのバリアを下げる仕組)
- ・専門職と本人・家族
 - ニーズを把握できるコミュニケーション力の養成
 - 選択肢を提示でき、決定を援助できるスキルの養成
- ・新たな概念を広め、本人らの潜在ニーズを引き出す活動
 - 在宅医療やACPなど浸透していない選択肢の理解を

在宅医療・介護連携推進事業のメインはここ

Outcome

・結果として

本人の幸福感・満足度
介護者の幸福感・負担
在宅療養期間の割合

隣接する重要領域

生活支援体制の事業
(独居・つながらない人)
認知症対策
交通手段の確保